

# だ 議 会 よ り 会

発行/秩父別町議会  
編集/町議会広報特別委員会  
TEL/0164-33-2111  
(議会事務局 内線25・26)



平成28年度中体連空知バスケットボール大会優勝 深川一己・秩父別中学校  
【秩父別中学校の選手（写真中央2人）】

## 平成28年第2回定例会

6月10日

### ふるさと納税増加により条例制定

平成28年第2回定例会が6月10日開催され、承認1件、報告2件、議案9件、諮問案1件を審議し、いずれも原案どおり可決しました。また、大野議員が一般質問を行いました。

◆**承認案件**  
専決処分された平成27年度一般会計補正予算を承認しました。

◆**報告案件**  
平成27年度一般会計繰越明許費の繰越した経費の報告がありました。また町出資法人の事業報告がありました。

◆**補正予算**  
一般会計については、3147万円を追加し総額31億8767万円となりました。  
主な歳出については診

療所業務委託収益補償金962万円、保養研修施設の防犯カメラ設置と冷房設備改修に838万円、除雪機械車庫整備511万円、2条排水機場水位計205万円などです。

◆**報告案件**  
専決処分された平成27年度一般会計補正予算を承認しました。

◆**報告案件**  
平成27年度一般会計繰越明許費の繰越した経費の報告がありました。また町出資法人の事業報告がありました。

◆**工事請負契約の締結について**  
屋内遊戯棟新築工事の工事請負契約を議決しました。



一  
般  
質  
問

(質問と答弁の内容を要約してお知らせします)



【大野議員】

本町では、屋内遊戯施設の整備をはじめ、子育て支援事業に積極的に取り組んでおり、多くの子育て世代の移住・定住が望まれるところでもあります。こうしたなか、小中学校の児童・生徒数は年々減少傾向にあ

り、小学校では児童数ゼロの学年が出るなど、課題も多く見られます。

子供を育てる上において、子育て支援策と学校教育の質的向上は車の両輪をなすものであり、子育て世代を本町に呼び込むためにも双方の充実是不可欠であります。教育は本町の未来への有効な投資であり、更に一歩進んだ学校教育の充実が求められます。

そこで、町内外の保護者の方々から「子供のために秩父別の学校で学ばさせ

たい」また「学ばせてよかった」と思ってもらえるような本町独自の魅力ある学校教育を確立する必要があると思いますが、教育長の見解をお伺いいたします。

【西田教育長】

本町では、管内で初めての取り組みとして講師を雇用し、中学生を対象とした放課後スキルアップゼミを開催するなど子育て世帯に対して様々な支援を先駆的に実施して参りました。しかし、過疎化と少子化を止める特効薬はなく、どこも自治体も同様で、打開策を見いだすために苦慮しているのが実情であります。

本町の本年度の在校生は小中学生合わせて110名で、昨年度から22名減少しており、今後も右肩下がり傾向が続くものと考えております。こうした現状を受け入れながらも、子育て支援の一翼を果たすために学校環境や学習環境をより一層魅力あるものにして本町の持続的な発展に寄与し

なければならぬと考えております。

学校教育につきましては、学力の底上げのために町営の学習塾を開設した町もありますが、地域の特殊事情もあり、そのまま本町に当てはめることが適当なのか十分に検証しなければなりません。

本町において、今回整備するタブレットなどの機器

を活用しながら子供の学びの意欲に働きかける「わかる授業」を実践するなど、授業力の向上も必要と考えております。

いづれにしても、学校現場も含め種々問題を解決しなければなりません。今後に向けて、町をはじめ教育関係団体と魅力ある学校教育について検討して参りたいと考えております。



外国語指導助手エミリー・シュスター先生による小学校での授業

答

問

学校教育について

秩父別町らしさのある学校教育について検討したい

# 所管事務調査の報告

## ◆総務経済 常任委員会◆

本委員会は企画課所管事項について担当者の説明を受け、質疑応答により調査を実施した。

### ○企画課所管事項について

平成26年に国が制定した「まち・ひと・しごと創生法」に基づき本町においても、「秩父別町まち・ひと・しごと創生推進本部」を設置し、今後5年間の施策を示した「まち・ひと・しごと総合戦略」を平成27年10月に策定している。

人口ビジョンと総合戦略については、「ちっぷべつの明日を語る会」や町議会との意見交換及び「まち・ひと・しごと創生会議」の審議を経て策定されており2020年において総人口2441人を維持するよう



町内の若者が集う「ちっぷべつの明日を語る会」

全体目標を示したところである。

総合戦略は4つ基本的政策からなり、「秩父別町まち・ひと・しごと創生推進本部」とその下部組織である「推進部会」が各関係機関と連携を図りながら、政策に基づく事業を実施することとしている。

また、産官学金が参画する「秩父別町まち・ひと・しごと創生会議」により施

策の効果や基本的目標等を検証し必要に応じて総合戦略の見直しを行った。今後様々な事業において、目標が達成されるよう期待するものである。

平成23年度から造成された定住促進団地においては、全38区画のうち35区画が販売済みとなっており、これまでの町の積極的な施策に敬意を表するものである。

残り3区画であるが、積極的にPR活動を行い早期に完売できるように望むところである。移住・定住の促進に向けた事業については、広くPRするとともに事業内容の検証などを行い、目的に沿った交付となるよう望むものである。

地域おこし協力隊について、現在3名の協力隊員のうち2名については、地域の農産物を様々な角度から調査し加工研究を行っており、地場の農産物を有効利用した特産品が開発され

るよう期待するところである。

1名においてはインバウンド観光を含む国際交流、コミニティデザインなどの業務を担っており交流人口の拡大と地域が活性化されるよう期待する。



地域おこし協力隊主催「町歩き ちっぷめぐり モニタリングツアー」に参加したタイ語サークル(札幌)のメンバー

また、町外に向けた情報発信・PR活動については、随時情報を更新するなど、本町の魅力を都市住民に知らしめる工夫を期待するものである。

## 人事案件

### 【人権擁護委員】

(中央西町内)

黒田 卓夫 氏(新任)

昭和32年6月29日生



## 所管事務調査の 申し出

議会閉会中の所管事務調査について、総務経済常任委員会及び議会運営委員会から、次のとおり申し出がありました。

○総務経済常任委員会  
・介護保険事業について

・産業の担い手対策について

・農業委員会制度の改正について

○議会運営委員会  
次期町議会(定例会までの臨時会を含む)の運営について

総務経済常任委員会 行政視察 7月14日～15日

十勝管内士幌町、更別村、芽室町の3町村を訪問し、視察や意見交換を行いました。

街灯のLED化により経費削減

士幌町では、市街地に設置された街灯のLED化について視察・説明を受けました。

同町では平成25年度から27年度までの3力年に約1億5千万円の予算で1023基の街路灯すべてをLED電球に交換し、電気料金が半額になったほか、マイマイガなどの害虫対策にも効果があったとのことでした。

また、総事業費は多額でも、削減された電気料金で負担したと考えれば、約12年で償還できるといふ話が印象的でした。  
地球温暖化が世界的な問題となっており、二酸化炭

素の排出を抑制する動きが急速に広がっている現在、本町の街灯をLED化するうえで大変参考になりました。



屋外遊戯施設の規模・機能性等の視察

更別村では、健康増進と憩いの場としての機能を併せ持つ「農村公園さらべつプレイランド」の一角に設置されている大型遊具等を視察しました。大型遊具は、ローラーライダーなど5

種類の滑り台を含む30アイテムの遊び道具が組み込まれた遊具で、学校帰りの児童や親子連れが楽しそうに遊んでいました。また、健康器具は7種類あり、住民の健康増進に貢献しているようでした。



全国一改革の進んでいる議会視察

芽室町議会では、議長、副議長、議会運営委員長等から議会改革の取り組みについて説明を受け、約2時間にもわたり意見交換をしました。

同議会は、「わかりやすい議会、開かれた議会、行動する議会」を目指して現在も改革を続けており、全国でも屈指の議会改革を行っている町議会として注目を集めております。

改革の基本とするところは、「町民の声を集め、専門家の知見を参考に総合型議会改革を進め、政策提案型議会へ進化する」というものであり、「議会モニター制度の導入」や「議会サポーターの委嘱」、「議会改革諮問会議の設置」などにより、町民の声を政策に反映すべく努力しているとの説明を

受けました。

また、議会傍聴者を増やすために、平成25年に傍聴者用のガイドブックを作成したほか、翌年には、傍聴席の椅子を交換して座りやすい環境づくりに努め、その結果、平成27年度の本会議の傍聴者数は、197名となり過去最多になったとの話が印象的でした。



全道町村議会議員研修会開催 7月5日

札幌コンベンションセンター



工、流通、販売までを行う事が大切と思い、実践していったそうです。

●農産物のブランド戦略

はじめに、立正大学客員教授、総務省地域力創造アドバイザー等を務める高野誠鮮氏による「ひとを動かし、まちを動かす」と題しての講演がありました。

高野氏は、石川県羽咋市の職員として勤務され、数々のまちづくりに関する大賞を受賞される傍ら「ローマ法王に米を食べさせた男」という著書を出されるなど執筆活動もされています。

内容は、神子原地区という山の中の高齢過疎地域活性化対策の話で、過疎になったのは、低い農業収入が最大の理由と気づき、対策として村全体で生産、加

「美味しいお米は農協を通さず自分で売る。」メディアを活用してより遠くまで届くように情報発信をする事が必要と考え、アメリカ大統領、ローマ法王へも米を贈りました。このことが話題となり、問い合わせが相次いだそうです。

●戦略をもって取り組む

海外向けの宣伝文句は「神子原という集落で、山の綺麗な水だけでお米を作っています。玄米40kgで3万円です。」と売り出したところ、イギリス大使館員が最初に注文してくれました。このことを国内で

宣伝したところ、すぐに申し込みが殺到しました。これは「近くより遠いものの方が良いと思う日本人気質がもたらした結果」とのことです。

●若い移住者が増え、活気づく

「援農合宿」を通じて都会から来た学生の発想で、棚田にひな壇を作ってみて



はどうかというアイデアをすぐに実行したところ、たちまち15000人の観光客がこの地区を訪れました。現在の農業収入は大幅に増え、この地区に魅力を感じた若者が集まるようになったことで高齢化率も下がり、移住者は13家族39人が暮らしているそうです。



続いて、東京新聞・中日新聞論説副主幹、TV番組にも出演している長谷川幸洋氏による「日本の行方く政局・政治展望」と題しての講演がありました。

はじめに日本の問題、展望を語るには、日本からばかり語るのではなく、世界での立場や中国、東アジアがどうなっているのかを充分考えることが重要で、それから日本の立ち居振る舞いを考えるべきであるとの持論を展開しました。

臨時会

◆第2回臨時会

平成28年第2回臨時会が5月30日に開催され、町税に関する条例改正のほか、一般会計他4特別会計の補正予算を原案どおり可決し、閉会しました。

◆第3回臨時会

平成28年第3回臨時会が7月7日に開催され、米穀乾燥調製貯蔵施設等工事に係る一般会計の補正予算を原案どおり可決し、閉会しました。

議会を

傍聴しませんか

第3回町議会定例会は、9月上旬に開催されます。

お気軽にお越しください。

▼お問い合わせ

秩父別町議会事務局  
33・2111

中央東町内会  
秩父別小学校  
校長 成田 将人 さん

## みんなの声



4月は、私にとって「初めて」がたくさんありました。校長職、秩父別町への赴任、校舎、子供たちとの出会い等、みんな初めてのことばかりでした。

町内に張り巡らされた用水路、鐘形飾りのついた街灯、小学校敷地内にある屯田兵記念碑など、みなさんが当たり前前に思っていることも、新鮮に見えました。

そして68人の子供たちとの出会い。どこに赴任しても思う当たり前のことですが、子ども達は、一人一人全く違う個性を持っています。それぞれの長所を認め、伸ばしていける学校にしなければならない。と強く思いました。

様々な場面で、最初に感じたことは、メモしながら過ごしました。「初志貫徹」「初心忘るべからず」～マンネリを感じたら、読み返

したいと思います。

今回、議会を傍聴しようと思ったのは、秩父別の教育にかかわる内容が一般質問されると聞いたからです。

東京都知事が、都議会で追及されている中での議会開催だったからでしょうか。たくさんの方が、傍聴されていたことに驚かされました。町民の方々の、行政に対する関心の高さをうかがい知ることが出来ました。

当日、質問に丁寧に答える西田教育長の姿を見ていて、私も自分にできることを精一杯やろうと決意を新たにしました。

子供たちを取り巻く環境は、驚くほど速いスピードで変化し、複雑化しています。地域・学校・家庭が連携し、地域総がかりで子供たちを育てていかなければならないと感じました。

## 議会の主な動き

2620 日日	191413118 日日日日	7 日	6 日	5 日	〔7月〕 29 日	109 日日	3 日	〔6月〕 30 日	18 日	1513 日日	8 日	〔5月〕 28 日	〔4月〕 28 日
空知町村議会議長会議員研修会	秩父別消防演習 議会広報特別委員会 研究会	北空知議会議長連絡協議会 道内政務調査(15日)	北空知議会議長連絡協議会 拓魂祭	北空知議会議長連絡協議会 屋内遊戯施設棟安全祈願祭 第3回町議会臨時会 全員協議会	北海道町村議会議員研修会 まち・ひと・しごと創生会議 北海道町村議会議長会定期総会 第2回町議会定例会 議会広報特別委員会 北空知議会議長連絡協議会中央 要望実行運動打合せ会議	北海道町村議会議長会定期総会 全員協議会	町政討論会 議会運営委員会	秩父別振興公社定時株主会 第2回町議会臨時会	北空知議会議長連絡協議会定期 総会	開町記念式	札幌秩父別会総会 再生協議会総会 敬老祭	総務経済常任委員会 通水式	

## 編集後記

●舛添前都知事が、あまりにも「せこい」ことをして辞職した。  
トップに立つ人や要職にある人が、公私の区別がつかず「せこい」ことをすれば批判を受けるのは当然である。

●参議院議員通常選挙が7月10日に行われた。今年から選挙権年齢が18歳以上に引き下げられた。選挙権の拡大は1946年に女性が参政権を得て以来70年ぶりである。若い人たちがもっと政治に関心を持ち、素晴らしい日本をつくることを願うばかりである。

●最近、道の駅で車に寝泊まりしているキャンパーを多く見かける。広い北海道を車で回り、夕方、温泉で旅の疲れを癒やす。温泉付き道の駅の利便性を最大限活用し、多くのキャンパーを呼び込めば、交流人口の拡大につながる。本町には観光客を呼び込む隠れた魅力がまだまだある。

(大野)